



サッカーやろうぜ！

年 組 ()

「ぼくはユイトと言います。将来の夢は、サッカー選手です。」

ユイトが、この町に引っこしてきたのは、つい1週間前だ。親の仕事の都合で引っこしてきた。

今言った将来の夢のことは本当で、世界で活躍するサッカー選手になりたいと思っていた。そのために、有名チームに通い、毎日しっかりと練習にはげんでいる。

「ユイト、よろしく。おれはカズヤ。どこに住んでるの？」

「そのマンションだよ。」

「うそ、俺の家も近いじゃん！」

カズヤとひとしきり盛り上がった。

「じゃあ、一緒にサッカーやろうぜ！ 明日は土曜日だから、昼過ぎからみんなでサッカーやるんだ。学校の前の公園に来てくれよ。それだけ練習しているんだったら、即戦力だよ。」

「もちろん、いいよ！」

「じゃあ、また公園でな！」

ユイトは、ワクワクしながら家に帰った。友達ができるかどうか、不安だったのだ。どうやら、友達ができそうな気がする。

ふと、カレンダーを見て、ユイトは「あっ！」と声をあげた。

忘れていた。明日は、大事な試合があるんだった。遠くで試合なので、一日中出かけている。公園になんて行ってもらえない。でも、カズヤの連絡先も家も、分からない。「どうしよう——。」

新しくできた友達を選ぶべきか、それとも大事なサッカーの試合を選ぶべきか。ユイトは頭をかかえた。

ユイトは、どうするべきでしょうか。あなたの考えと理由を書きましょう。

.....

.....

話し合っ考えたことを書きましょう。

.....

.....

